

喜多の
祭

大阪の夏祭

今年も大阪に夏祭りの季節がやってきました。お祭の多くは宵宮と本宮と二日間かけて行われるところが多く、左記の一覧は本宮の日を記載しております。ひとつお近くの神社の夏祭に詣でて、暑さを乗り切る元気を氏神さまから頂いてみては如何でしょうか。

七月の大阪市内の主要夏祭り一覧

- 一日 愛染祭〓大阪愛染堂(勝鬘院)
- 七日 七夕祭〓当社御旅所(北区)
星愛七夕祭〓大阪天満宮
- 一二日 夏祭〓杭全神社(平野区)
夏祭〓生國魂神社(天王寺区)
- 一四日 夏祭〓難波八坂神社(中央区)
夏祭〓御霊神社(中央区)
- 一五日 例祭〓網敷天神社(神事のみ)
夏祭〓豊崎宮(北区)
- 一六日 例祭〓玉造稻荷神社(中央区)
夏祭〓長柄八幡宮(北区)
- 一七日 夏祭〓大国主命神社(中央区)
- 一八日 例祭〓高津宮(中央区)
例祭〓八坂神社(北区海老江)
例祭〓八坂神社(北区大淀)
夏祭〓姫嶋神社(西淀川区)
- 二〇日 例祭〓桜宮(都島区)
- 二二日 夏祭〓山阪神社(東住吉区)
坐磨祭〓坐磨神社(中央区)
氷室祭〓難波神社(中央区)
- 二三日 夏祭〓香具波志神社(淀川区)
- 二五日 天神祭(本宮)〓大阪天満宮
だいがく祭〓生根神社(西成区)
- 三一日 住吉祭〓住吉大社(住吉区)

日程変更のあるところもありますので、
詳細は各神社にお問い合わせ下さい

網敷天神社の例祭余話

当、網敷天神社の例祭は上記の一覧にもありますように、七月十五日に執り行われております。現在は少子化と交通事情の悪化により、太鼓や神輿の渡御は難しくなり、例祭日当日であっても境内は普段と同じく静かな状況となりましたが、今も社殿の中では十五日になると神事を執り行っております。

神社の祭というと、お神輿が練り歩き、屋台が出てワイワイとした賑わいのある雰囲気があるかと思われ方が多いかと思いますが、本来はこの神事が第一であり、賑わいはその副産物であると言われております。ですので、古代の神事は厳肅に静謐の中で行われるものでした。現代に至ってはそういった祭はごく限られたものとなりましたが、当神社の例祭においては、この神事だけは連続と絶える事無く執り行っております。

さて、この当神社の例祭ですが、天神さまのご縁日は二十五日なのに、なぜ十五日なのかという点、この日は当神社の御本社本殿にお祀りされている主祭神、嵯峨天皇さまの崩御の当日である為です。古来、徳の高く神性豊かな人は死んで神になるとされ、その方の亡くなった日のご縁日とされました。嵯峨天皇さまを偲び本年も神事が執り行われます。

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀知

